

皆様おはようございます。

ジメジメと蒸し暑い日々、急な雷雨、30度を超える真夏のような天気、目まぐるしい天候の変化の中にありますが、お元気にお過ごしでしたか。

今日は父の日です。教会の男性の方々のご存在と頼もしいお働きのゆえに、心より御礼を申し上げます。

さてヘブル書も3章に入りました。

1章では世界の創造者であり、御使いに勝る御子キリストイエスの姿が描かれました。2章ではその偉大なる御子が、御使よりも低き姿を取り、人となられ、身代わりの死を遂げるまで低くなられ、「死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた者たちを、解き放つ」、「神のみまえにあわれみ深い忠実な大祭司となって、民の罪をあがなうために、あらゆる点において兄弟たちと同じようになら」れ、「主ご自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練の中にある者たちを助けることができる」救い主と描かれました。

3章ではイスラエルがエジプトから救い出された出来事に用いられたモーセとイエス様を比較して、イエス様はイスラエルの家自体をお造りになられ、神の家に仕えるモーセとは違い、それを治めるお方であることが語られます。

神の民、イスラエルにとって出エジプトは民族と神様との原体験のような大きな出来事でした。ヨセフを用いて神様は民をエジプトに住ませ、飢饉から救い出されたという出来事も偉大な神様の民族のための出来事でしたが、それから430年。ヨセフがエジプトを救ったことを知らないという王がイスラエルの民を奴隷にして

出エジプト 1:6 そして、ヨセフは死に、兄弟たちも、その時代の人々もみな死んだ。

1:7 けれどもイスラエルの子孫は多くの子を生み、ますますふえ、はなはだ強くなって、国に満ちるようになった。

1:8 ここに、ヨセフのことを知らない新しい王が、エジプトに起った。

1:9 彼はその民に言った、「見よ、イスラエルびとなるこの民は、われわれにとって、あまりにも多く、また強すぎる。

1:10 さあ、われわれは、抜かりなく彼らを取り扱おう。彼らが多くなり、戦いの起るとき、敵に味方して、われわれと戦い、ついにこの国から逃げ去ることのないようにしよう」。

1:22 そこでパロはそのすべての民に命じて言った、「ヘブルびとに男の子が生れたならば、みなナイル川に投げこめ。しかし女の子はみな生かしておけ」。

出エジプト 12:40 イスラエルの人々がエジプトに住んでいた間は、四百三十年であった。

12:41 四百三十年の終りとなって、ちょうどその日に、主の全軍はエジプトの国を出た。

そこで生まれたのがモーセでした。パピルスで編んだ籠の中に入れられた赤ちゃんはパロの娘の目に留まり、モーセの姉は王女に頼まれ、乳母を探し、報酬をもらいながらわが子を育てることが出来るようになりました。王女はすべてを分かったうえでかわいそうに思い、この子の命を助けたのでした。

「彼女はその名をモーセと名づけて言った、『水の中からわたしが引き出したからです。』」
この子がイスラエルの民を率いて水の中から引き出すようになろうとは、神様のあまりにも奇しき御業というほかありません。

出エジプト 2:23 多くの日を経て、エジプトの王は死んだ。イスラエルの人々は、その苦役の務のゆえにうめき、また叫んだが、その苦役のゆえの叫びは神に届いた。

2:24 神は彼らのうめきを聞き、神はアブラハム、イサク、ヤコブとの契約を覚え、

2:25 神はイスラエルの人々を顧み、神は彼らをしろしめされた。

2:25 神はイスラエルの人々を顧み、御心に留められた。

この後のモーセの働きは、私たちの知るところです。彼は命を恐れて逃げたパロの元に戻る
こととなり、また自分の生まれであるヘブル人の解放のため、神様に用いられ、「わが民を
去らせよ」と何度となく語る事となります。

神様は再びそのヘブル人へと御言葉を送られます。

3:1 そこで、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たちよ。あなたがたは、わたしたちが告白する信仰の使者また大祭司なるイエスを、思いみるべきである。

神様がどれだけご自身の民を顧みて下さったのか。モーセを遣わし、民を顧み、滅びから救い出して下さった神様は、モーセにはるかに勝るイエス様を遣わして下さったということが書かれています。

3:1 そこで、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たちよ。あなたがたは、わたしたちが告白する信仰の使者また大祭司なるイエスを、思いみるべきである。

「天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち」。

天での安息に与かる者。神のために取り分けられ、聖なる者とされ、家族とされ、兄弟たちとされた者。その信仰に入れるために使者、大祭司として遣わされたイエス様を思い見るべき。心に留め、注意を払ってよくよく思慮をもってこの方を見よと聖書は語ります。

3:2 彼は、モーセが神の家の全体に対して忠実であったように、自分を立てたかたに対して忠実であられた。

3:3 おおよそ、家を造る者が家そのものよりもさらに尊ばれるように、彼は、モーセ以上に、大いなる光栄を受けるにふさわしい者とされたのである。

ここで聖書はイエス様とモーセとの比較を語ります。

モーセは神の家全体に対して忠実に仕えました。しかしイエス様はご自分を立てた方、立てて遣わされた神様に対して忠実でした。イエス様は神の家であるご自身の民を作られた方であり、「家を造る者が家そのものよりもさらに尊ばれるように、彼は、モーセ以上に、大いなる光栄を受けるにふさわしい者とされ」ました。

3:4 家はすべて、だれかによって造られるものであるが、すべてのものを造られたかたは、神である。

3:5 さて、モーセは、後に語らるべき事からについてあかしをするために、仕える者として、神の家の全体に対して忠実であったが、

3:6 キリストは御子として、神の家を治めるのに忠実であられたのである。もしわたしたちが、望みの確信と誇とを最後までしっかりと持ち続けるなら、わたしたちは神の家なのである。

モーセは、仕える者として神の家全体に対して忠実でしたが、キリストは御子として、神の家を治め、支配するものとして忠実に振る舞われたことが記されます。

「もしわたしたちが、望みの確信と誇とを最後までしっかりと持ち続けるなら、わたしたちは神の家なのである。」

このイエス様にこそ望みと救いの確信があります。

大国エジプトの中で奴隷状態となって恐怖と悲しみの中にあった民が、モーセによって解放されたとすれば、イエス・キリストにあって私たちにもたらされる救いの希望はどれほどのものでしょうか。そしてイエス様の救いによって、私たちはどの民族の出身であろうと神の民となるのです。

3:7 だから、聖霊が言っているように、／「きょう、あなたがたがみ声を聞いたなら、

3:8 荒野における試練の日に、／神にそむいた時のように、／あなたがたの心を、かたくなにはいけない。

3:9 あなたがたの先祖たちは、／そこでわたしを試みためし、

3:10 しかも、四十年の間わたしのわざを見たのである。だから、わたしはその時代の人々に対して、／いきどおって言った、／彼らの心は、いつも迷っており、／彼らは、わたしの

道を認めなかった。

3:11 そこで、わたしは怒って、彼らをわたしの安息に／はいらせることはしない、と誓った」。

まさに神様の奇跡の御業としかいうことのできない出エジプトの救いの中でさえ、民は不信仰に陥っていました。

出エジプト記 17:1 イスラエルの人々の全会衆は、主の命に従って、シンの荒野を出発し、旅路を重ねて、レピデムに宿営したが、そこには民の飲む水がなかった。

17:2 それで、民はモーセと争って言った、「わたしたちに飲む水をください」。モーセは彼らに言った、「あなたがたはなぜわたしと争うのか、なぜ主を試みるのか」。

17:3 民はその所で水にかわき、モーセにつぶやいて言った、「あなたはなぜわたしたちをエジプトから導き出して、わたしたちを、子供や家畜と一緒に、かわきによって死なせようとするのですか」。

17:4 このときモーセは主に叫んで言った、「わたしはこの民をどうすればよいのでしょうか。彼らは、今にも、わたしを石で打ち殺そうとしています」。

17:5 主はモーセに言われた、「あなたは民の前に進み行き、イスラエルの長老たちを伴い、あなたがナイル川を打った、つえを手にとって行きなさい。

17:6 見よ、わたしはホレブの岩の上であなたの前に立つであろう。あなたは岩を打ちなさい。水がそれから出て、民はそれを飲むことができる」。モーセはイスラエルの長老たちの目の前で、そのように行った。

17:7 そして彼はその所の名をマッサ、またメリバと呼んだ。これはイスラエルの人々が争ったゆえ、また彼らが「主はわたしたちのうちにおられるかどうか」と言って主を試みたからである。

民数記 14:1 そこで、会衆はみな声をあげて叫び、民はその夜、泣き明かした。

14:2 またイスラエルの人々はみなモーセとアロンにむかってつぶやき、全会衆は彼らに言った、「ああ、わたしたちはエジプトの国で死んでいたらよかったのに。この荒野で死んでいたらよかったのに。

14:3 なにゆえ、主はわたしたちをこの地に連れてきて、つるぎに倒れさせ、またわたしたちの妻子をえじきとされるのであろうか。エジプトに帰る方が、むしろ良いではないか」。

14:4 彼らは互に言った、「わたしたちはひとりのかしらを立てて、エジプトに帰ろう」。

14:5 そこで、モーセとアロンはイスラエルの人々の全会衆の前でひれふした。

14:6 このとき、その地を探った者のうちのヌンの子ヨシュアとエフソネの子カレブは、その衣服を裂き、

14:7 イスラエルの人々の全会衆に言った、「わたしたちが行き巡って探った地は非常に良

い地です。

14:8 もし、主が良しとされるならば、わたしたちをその地に導いて行って、それをわたしたちにくさるでしょう。それは乳と蜜の流れている地です。

14:9 ただ、主にそむいてはなりません。またその地の民を恐れてはなりません。彼らはわたしたちの食べ物にすぎません。彼らを守る者は取り除かれます。主がわたしたちと共におられますから、彼らを恐れてはなりません」。

14:10 ところが会衆はみな石で彼らを撃ち殺そうとした。そのとき、主の栄光が、会見の幕屋からイスラエルのすべての人に現れた。

14:11 主はモーセに言われた、「この民はいつまでわたしを侮るのか。わたしがもろもろのしるしを彼らのうちに行ったのに、彼らはいつまでわたしを信じないのか。

14:12 わたしは疫病をもって彼らを撃ち滅ぼし、あなたを彼らよりも大いなる強い国民としよう」。

14:13 モーセは主に言った、「エジプトびとは、あなたが力をもって、この民を彼らのうちから導き出されたことを聞いて、

14:14 この地の住民に告げるでしょう。彼らは、主なるあなたが、この民のうちにおられ、主なるあなたが、まのあたり現れ、あなたの雲が、彼らの上にとどまり、昼は雲の柱のうちに、夜は火の柱のうちにあって、彼らの前に行かれるのを聞いたのです。

14:15 いま、もし、あなたがこの民をひとり残らず殺されるならば、あなたのことを聞いた国民は語って、

14:16 『主は与えると誓った地に、この民を導き入れることができなかつたため、彼らを荒野で殺したのだ』と言うでしょう。

14:17 どうぞ、あなたが約束されたように、いま主の大いなる力を現してください。

14:18 あなたはかつて、『主は怒ることおそく、いつくしみに富み、罪ととがをゆるす者、しかし、罰すべき者は、決してゆるさず、父の罪を子に報いて、三、四代に及ぼす者である』と言われました。

14:19 どうぞ、あなたの大いなるいつくしみによって、エジプトからこのかた、今にいたるまで、この民をゆるされたように、この民の罪をおゆるしてください」。

14:20 主は言われた、「わたしはあなたの言葉のとおりゆるそう。

14:21 しかし、わたしは生きている。また主の栄光が、全世界に満ちている。

14:22 わたしの栄光と、わたしがエジプトと荒野で行ったしるしを見ながら、このように十度もわたしを試みて、わたしの声に聞きしたがわなかつた人々はひとりも、

14:23 わたしがかつて彼らの先祖たちに与えると誓った地を見ないであろう。またわたしを侮った人々も、それを見ないであろう。

14:24 ただし、わたしのしもべカレブは違った心をもっていて、わたしに完全に従つたので、わたしは彼が行ってきた地に彼を導き入れるであろう。彼の子孫はそれを所有するにいたるであろう。

詩編 95:1 さあ、われらは主にむかって歌い、われらの救の岩にむかって喜ばしい声をあげよう。

95:2 われらは感謝をもって、み前に行き、主にむかい、さんびの歌をもって、喜ばしい声をあげよう。

95:3 主は大いなる神、すべての神にまさって大いなる王だからである。

95:4 地の深い所は主のみ手にあり、山々の頂もまた主のものである。

95:5 海は主のもの、主はこれを造られた。またそのみ手はかわいた地を造られた。

95:6 さあ、われらは拝み、ひれ伏し、われらの造り主、主のみ前にひざまずこう。

95:7 主はわれらの神であり、われらはその牧の民、そのみ手の羊である。どうか、あなたがたは、きょう、そのみ声を聞くように。

95:8 あなたがたは、メリバにいた時のように、また荒野のマッサにいた日のように、心をかたくなにしてはならない。

95:9 あの時、あなたがたの先祖たちは／わたしのわざを見たにもかかわらず、わたしを試み、わたしをためした。

95:10 わたしは四十年の間、その代をきらって言った、「彼らは心の誤っている民であって、わたしの道を知らない」と。

95:11 それゆえ、わたしは憤って、彼らはわが安息に入ることができないと誓った。

1 コリント 10:1 兄弟たちよ。このことを知らずにいてもらいたくない。わたしたちの先祖はみな雲の下におり、みな海を通り、

10:2 みな雲の中、海の中で、モーセにつくバプテスマを受けた。

10:3 また、みな同じ霊の食物を食べ、

10:4 みな同じ霊の飲み物を飲んだ。すなわち、彼らについてきた霊の岩から飲んだのであるが、この岩はキリストにほかならない。

10:5 しかし、彼らの中の大多数は、神のみこころにかなわなかったので、荒野で滅ぼされてしまった。

民数記 20:7 主はモーセに言われた、

20:8 「あなたは、つえをとり、あなたの兄弟アロンと共に会衆を集め、その目の前で岩に命じて水を出させなさい。こうしてあなたは彼らのために岩から水を出して、会衆とその家畜に飲ませなさい」。

20:9 モーセは命じられたように主の前にあるつえを取った。

20:10 モーセはアロンと共に会衆を岩の前に集めて彼らに言った、「そむく人たちよ、聞きなさい。われわれがあなたがたのためにこの岩から水を出さなければならないのであろうか」。

20:11 モーセは手をあげ、つえで岩を二度打つと、水がたくさんわき出たので、会衆とその家畜はともに飲んだ。

20:12 そのとき主はモーセとアロンに言われた、「あなたがたはわたしを信じないで、イスラエルの人々の前にわたしの聖なることを現さなかったから、この会衆をわたしが彼らに与えた地に導き入れることができないであろう」。

20:13 これがメリバの水であって、イスラエルの人々はここで主と争ったが、主は自分の聖なることを彼らのうちに現された。

3:7 だから、聖霊が言っているように、／「きょう、あなたがたがみ声を聞いたなら、

3:8 荒野における試練の日に、／神にそむいた時のように、／あなたがたの心を、かたくなにしていけない。

3:9 あなたがたの先祖たちは、／そこでわたしを試みためし、

3:10 しかも、四十年の間わたしのわざを見たのである。だから、わたしはその時代の人々に対して、／いきどおって言った、／彼らの心は、いつも迷っており、／彼らは、わたしの道を認めなかった。

3:11 そこで、わたしは怒って、彼らをわたしの安息に／はいらせることはしない、と誓った」。

直線距離でわずか300kmの旅路、一日に10キロメートル歩いても、1か月で着く旅路を40年かかってたどり着いた民。その中でも、40年に渡って、聞き分けのない流浪の民を見捨てずに導かれた神様を忘れずに進むことの大切さが聖書には記されてあります。

申命記 8:1 わたしが、きょう、命じるこのすべての命令を、あなたがたは守って行わなければならない。そうすればあなたがたは生きることができ、かつふえ増し、主があなたがたの先祖に誓われた地にはいって、それを自分のものとすることができるであろう。

8:2 あなたの神、主がこの四十年の間、荒野であなたを導かれたそのすべての道を覚えなければならない。それはあなたを苦しめて、あなたを試み、あなたの心のうちを知り、あなたがその命令を守るか、どうかを知るためであった。

8:3 それで主はあなたを苦しめ、あなたを飢えさせ、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナをもって、あなたを養われた。人はパンだけでは生きず、人は主の口から出るすべてのことばによって生きることがあなたに知らせるためであった。

8:4 この四十年の間、あなたの着物はすり切れず、あなたの足は、はれなかった。

8:5 あなたはまた人がその子を訓練するように、あなたの神、主もあなたを訓練されることを心にとめなければならない。

8:6 あなたの神、主の命令を守り、その道に歩いて、彼を恐れなければならない。

8:7 それはあなたの神、主があなたを良い地に導き入れられるからである。そこは谷にも山にもわき出る水の流れ、泉、および淵のある地、

8:8 小麦、大麦、ぶどう、いちじく及びざくろのある地、油のオリーブの木、および蜜のある地、

8:9 あなたが食べる食物に欠けることなく、なんの乏しいこともない地である。その地の石は鉄であって、その山からは銅を掘り取ることができる。

8:10 あなたは食べて飽き、あなたの神、主がその良い地を賜ったことを感謝するであろう。

8:11 あなたは、きょう、わたしが命じる主の命令と、おきてと、定めとを守らず、あなたの神、主を忘れることのないように慎まなければならない。

8:12 あなたは食べて飽き、麗しい家を建てて住み、

8:13 また牛や羊がふえ、金銀が増し、持ち物がみな増し加わるとき、

8:14 おそらく心にたかぶり、あなたの神、主を忘れるであろう。主はあなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出し、

8:15 あなたを導いて、あの大きな恐ろしい荒野、すなわち火のへびや、さそりがいて、水のない、かわいた地を通り、あなたのために堅い岩から水を出し、

8:16 先祖たちも知らなかったマナを荒野であなたに食べさせられた。それはあなたを苦しめ、あなたを試みて、ついにはあなたをさいわいにするためであった。

8:17 あなたは心のうちに『自分の力と自分の手の働きで、わたしはこの富を得た』とってはならない。

8:18 あなたはあなたの神、主を覚えなければならない。主はあなたの先祖たちに誓われた契約を今日のように行うために、あなたに富を得る力を与えられるからである。

8:19 もしあなたの神、主を忘れて他の神々に従い、これに仕え、これを拜むならば、——わたしは、きょう、あなたがたに警告する。——あなたがたはきっと滅びるであろう。

8:20 主があなたがたの前から滅ぼし去られる国々の民のように、あなたがたも滅びるであろう。あなたがたの神、主の声に従わないからである。

3:12 兄弟たちよ。気をつけなさい。あなたがたの中には、あるいは、不信仰な悪い心をいだいて、生ける神から離れ去る者があるかも知れない。

3:13 あなたがたの中に、罪の惑わしに陥って、心をかたくなにする者がないように、「きょう」といううちに、日々、互に励まし合いなさい。

「不信仰な悪い心をいだいて、生ける神から離れ去る者」。

こんなにも繰り返して、愛して遣わして、仕えさせ、命を捧げて身代わりになって下さる方を

知りながら、その生ける神様から離れ去るということは、信じられないことです。

13 あなたがたの中に、罪の惑わしに陥って、心をかたくなにする者がないように、「きょう」といううちに、日々、互に励まし合いなさい。

1 そこで、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たちよ。あなたがたは、わたしたちが告白する信仰の使者また大祭司なるイエスを、思いみるべきである。

心をかたくなにせず、天の召しに与かる聖なる兄弟たち、「今日」共に集いし兄弟たち、どうか大祭司なるイエス様から目を離さないでほしい。罪の惑わしに陥って、心をかたくなにし、救いの確信と希望を失って欲しくない。

3:14 もし最初の確信を、最後までしっかりと持ち続けるならば、わたしたちはキリストにあずかる者となるのである。

8 荒野における試練の日に、／神にそむいた時のように、／あなたがたの心を、かたくなにしていけない。

荒野の中にいようとも、先行きが見えず、困難や不安が隣り合わせにあらうとも、荒れ野の試練の日に心をかたくなにしてはならない。最初の確信を、最後までしっかりと持ち続けるならば、わたしたちはキリストにあずかる者となると、聖書は語ります。

3:15 それについて、こう言われている、／「きょう、み声を聞いたなら、／神にそむいた時のように、／あなたがたの心を、かたくなにしていけない」。

3:16 すると、聞いたのにそむいたのは、だれであったのか。モーセに率いられて、エジプトから出て行ったすべての人々ではなかったか。

3:17 また、四十年の間、神がいきどおられたのはだれに対してであったか。罪を犯して、その死かばねを荒野にさらした者たちに対してではなかったか。

3:18 また、神が、わたしの安息に、はいらせることはしない、と誓われたのは、だれに向かってであったか。不従順な者に向かってではなかったか。

3:19 こうして、彼らがいいることのできなかつたのは、不信仰のゆえであることがわかる。

このへブル書の読者たちの時代。イエス様が天にお帰りになられてから40年の時が経ちました。出エジプトの出来事から40年。民は心をかたくなにし、「16 すると、聞いたのにそむいたのは、だれであったのか。モーセに率いられて、エジプトから出て行ったすべての人々ではなかったか。」全ての人々が心をかたくなにして、荒れ野の試練の中を不合格となり、神様の憤りの中、誰も安息に入れなかつたとの宣告を受けるになってしまいました。しかしその

ことごとく不適格となってしまったヘブル人たちのために、モーセによる救いにはるかに勝るイエス様による救いが与えられました。そしてイエス様が天に帰られて後、40年の間、変わることなく生ける神様は背く民を贖う大祭司を与え、救いから漏れてしまうことのないように、導き続けて下さいました。

6 キリストは御子として、神の家を治めるのに忠実であられたのである。もしわたしたちが、望みの確信と誇とを最後までしっかりと持ち続けるなら、わたしたちは神の家なのである。

7 だから、聖霊が言っているように、／「きょう、あなたがたがみ声を聞いたなら、

8 荒野における試練の日に、／神にそむいた時のように、／あなたがたの心を、かたくなにしてはいけない。

12 兄弟たちよ。気をつけなさい。あなたがたの中には、あるいは、不信仰な悪い心をいだいて、生ける神から離れ去る者があるかも知れない。

13 あなたがたの中に、罪の惑わしに陥って、心をかたくなにする者がないように、「きょう」といううちに、日々、互に励まし合いなさい。

14 もし最初の確信を、最後までしっかりと持ち続けるならば、わたしたちはキリストにあずかる者となるのである。

15 それについて、こう言われている、／「きょう、み声を聞いたなら、／神にそむいた時のように、／あなたがたの心を、かたくなにしてはいけない」。

天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち、私たちが神様の恵みの中こうして共に集い、大祭司なるイエスを、思いみるこの時は、私たちが心を低くして、素直に御子イエス様にある神様の救いのご計画を賛美し、荒野の中に神様の恵みと働きと希望を見出すことのできる「今日」は、何と尊いことでしょうか。私たちは荒野の試練の中にあっても主を疑わず、慰めと慈しみに満ちた大祭司、イエス様、出エジプトに奇跡にはるかに勝る、モーセに勝る救い主が40年後も、2000年後も変わらずに働き続けておられるお方をじっと見つめ、望みの確信と誇とを最後までしっかりと持ち続け、不信仰な悪い心をいだいて、生ける神から離れ去ることをせず、罪の惑わしに陥って、心をかたくなにする者がないように、「きょう」といううちに、日々、互に励まし合い、もし最初の確信を、最後までしっかりと持ち続けるならば、わたしたちはキリストにあずかる者となる、との御言葉を宝として進み続けたいと願います。

9 あなたがたの先祖たちは、そこでわたしを試みためし、

10 しかも、四十年の間わたしのわざを見たのである。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。御使いよりも、モーセよりも勝る世界の創造者イエス様は、大祭司として執り成し、実にご自分のいのちを犠牲と捧げて私たちを救いの安息に入れて下さいますから、本当にありがとうございます。私たちの日々も、時に荒れ野の流浪の旅のように思われ、不安と隣り合わせですが、荒れ野で主を試し、心をかたくなにしたイスラエルの民のようにではなく、生ける神様への確信と希望を持ち続け、最初の確信を最後までしっかりと持ち続けることができますように、お優しい執り成し手、大祭司イエス様のことをいつも思うことができますようにお守りください。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン